

J・Aバンクあきた優績表彰で当J・A・支店に4賞

令和3年度に信用事業で優れた業績をあげた県内のJ・Aや店舗を称える「J・Aバンクあきた優績表彰」が決定し、当J・Aが優績J・A表彰で優秀賞を受賞しました。優績店舗表彰「メイン化部門」では矢留支店が優秀賞に、秋田駅東支店が奨励賞に輝きました。両支店とも、同部門で2年連続の入賞です。さらに、今回新たに設けられた特別表彰の「個人I・B（インターネットバンク）推進優績J・A表彰」で、当J・Aに最優秀賞が贈られました。

今年度も担当職員が推進や事務などの業務をしやすい環境づくりを進め、皆様によりよい金融サービスを提供できるよう尽力します。

表彰を受けた
佐藤組合長や支店長ら



夏秋用花苗を地域団体へ引き渡し

夏秋向けの花壇用の花苗が6月9日（木）に青果物北流通センターで、10日（金）に四ツ小屋低温倉庫で当J・Aから地域団体に引き渡されました。生産者がマリーゴールドやサルビア、ニチニチソウなどを次々と会場に搬入し、事前に申し込んだ小学校や子ども園、町内会や市民サービスセンターなどの担当者が受け取りました。

地域団体への花壇苗の引き渡しは毎年春用を4月に、夏秋用を6月に行っています。夏秋用の花苗は今年度、60団体に7321鉢を供給しました。花苗は各団体が花壇やプランターなどに移植し、地域の緑化活動に活用されています。



生産者から運び込まれて
引き渡し会場に並ぶ花苗

NEWS & TOPICS

食料安全保障強化へ北海道・東北農業対策協議会集会

6月13日（月）、北海道・東北農業対策協議会による「食と農と生命を守る北海道・東北地区J・A代表者集会」が札幌市で開催されました。オンラインを含め約700名が参加し、当J・A農政対策本部からは吉田文勝副組合長が、またJ・Aあきた女性組織協議会を代表して当J・A女性部の佐々木早苗部長が出席しました。

世界情勢や日本の食料自給率の低下をふまえて、担い手の確保と育成による生産基盤や持続可能な農業の強化に取り組むことなどが決議され、日本の食料安全保障を担う意思を統一しました。生産資材の輸入依存からの脱却やコスト低減の実現も挙げられ、資材高騰などへの対策を国に求めました。

食料安定生産と生産基盤の
強化に意気込む参加者



スナップエンドウの品質基準を確認

6月15日（水）、スナップエンドウの目揃え会が船越多目的施設で開催されました。6月下旬の出荷最盛期を目前に控え、生産者ら約30名が品質基準や今後の栽培管理の注意点を確認しました。男鹿地区営農センターの担当職員が出荷規格などを説明し、秋田地域振興局農業振興普及課の担当者は生産者に「5月からアザミウマ類が増えている。周辺の雑草から侵入することが多いため、圃場の周囲の除草を徹底してほしい」と呼び掛けました。

生産者らは各等級や規格外品を見比べながら、がくの処理や箱詰め方法、傷の程度などについて話し合いました。

等級ごとのスナップエンドウを
見比べて意見を交わす生産者

